

研究実施のお知らせ

2025 年 6 月 8 日 ver.1.0

研究課題名

糖尿病患者における血中・尿中 C ペプチド比の腎機能予後予測因子としての有用性に関する検討（後向き）

研究の対象となる方

2017 年 4 月から 2021 年 12 月の間に島根大学医学部附属病院内分泌代謝内科に入院し、2 型糖尿病と診断・治療を受けた方のうち、その後 3 年以上当院に通院・検査されている方。

研究の目的・意義

糖尿病の患者さんで、血中・尿中 C ペプチド比と腎機能の経時的変化との間に関連があるのかを検討します。血中・尿中 C ペプチドはインスリン分泌の指標として広く使用されていますが、腎機能の経時的変化と関連するのかは分かっておりません。このため、糖尿病の患者さんの血中・尿中 C ペプチド比と腎機能の経時的変化との関連が明らかとなれば、リスクの高い患者さんを把握し、早期の治療介入をし、これにより腎機能障害の進行を抑制することが可能となると考えられます。

研究の方法

・2 型糖尿病の方に関して、過去のカルテ記載を確認して、以下の項目を集積させていただきます。

診療録より：

年齢、性別、身長、体重、腹囲、血圧、糖尿病の病歴、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、薬の内容

血液・尿検査結果より：

肝機能、腎機能、電解質、糖代謝指標、脂質、心不全指標、尿蛋白、尿中 C ペプチド排泄量

CT 検査結果、心エコー結果、頸動脈エコー結果、脈波検査結果

・2 型糖尿病患者さんの血中・尿中 C ペプチド比を算出し、入院から 3 年後以降の腎機能の経時的変化と関連があるのか検討します。

・個人情報に関しては、本研究のみを目的に使用します。解析、公表の際にも個人が同定できないようにカルテより情報を集積します。

研究の期間

2025 年 7 月 25 日～2027 年 3 月

研究組織

この研究は島根大学医学部内科学講座内科学第一が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 矢野 悠介

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026 年 3 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 矢野 悠介

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-23-8650